

新潟市障がい者地域自立支援協議会 運営事務局会議 議事内容報告

1. 平成29年度 運営事務局会議開催状況

	開催日	議事
第1回運営事務局会議	H29年 7月5日(水)	(1)区自立支援協議会の報告 (2)相談支援連絡会の報告 (3)8区横断作業チーム検討会の報告 (4)地域生活支援拠点整備について 等
第2回運営事務局会議	H29年10月5日(木)	(1)区自立支援協議会の報告 (2)相談支援連絡会の報告 (3)8区横断作業チーム検討会の報告 (4)第19回全体会について 等

2. 平成29年度 運営事務局会議委員名簿(第1回、第2回)

敬称略

No	所属	氏名	備考
1	(福)いぶきサポート協会 きぼう福祉園	広岡 優次	H28・29 会長
2	(福)新潟みずほ福祉会 第2みずほ園	海老 郁夫	H28・29 副会長
3	新潟市障がい者基幹相談支援センター東	吉井 綾乃	
4	新潟市障がい者基幹相談支援センター中央	山田 恵	相談支援連絡会
5	新潟市障がい者基幹相談支援センター秋葉	杉山 貴則	
6	新潟市障がい者基幹相談支援センター西	竹田 一光	
7	中央区役所健康福祉課障がい福祉係	瀬戸 則文	
8	秋葉区役所健康福祉課障がい福祉係	金子 真也	
9	南区役所健康福祉課障がい福祉係	白倉 実	
10	西蒲区役所健康福祉課障がい福祉係	織田島 麻美子	
	障がい福祉課介護給付係	杉本 浩	事務局
	〃	石川 雅大	〃

3. 昨年度からの検討課題について

No	検討・要望事項	検討内等
(1)	<p>入所待機者の解消について (北区自立支援協議会より)</p>	<p>入所待機者数の現状を確認。入所順番が回ってきても断るケースが後を絶たず課題となっていることなどを議論。待機者の全体数を議論するより、入所緊急度が高い人についての議論が必要で、入所調査票や入所の必要性について、ケースワークの方法を見直すべきなどの意見。(H28.12.27 運営事務局会議)</p> <p>▼</p> <p>状況：引き続き検討</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>入所調査票や待機順番は県が管理しているため、見直しは困難。待機者の解消のために必要なサービスについて、区に課題の具体的な分析を依頼。</p> </div>
(2)	<p>地域活動支援センターのみの利用者で、真に相談支援が必要なケースに対する計画相談支援給付について (西区自立支援協議会より)</p>	<p>地域活動支援センターにおける相談体制について議論。制度上、地域活動支援センターのみの利用者は計画相談支援対象外となるため個別給付は困難。地域活動支援センターにも機能強化事業として「相談」があり、地域活動支援センターの相談力向上に向けた仕組みを考えてはどうか等の意見。また区によっては保健師や区が利用者情報を共有し、地域活動支援センターへのフォローアップ体制を組む動きも。まずは、真に相談が必要な方がどのくらいいるのか実態把握が必要。(H28.12.27 運営事務局会議)</p> <p>▼</p> <p>状況：終了(西区自立支援協議会で再度検討)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>西区実施のアンケートの結果、具体的要望は一旦持越し。</p> </div>

<p>(3)</p>	<p>「移動支援」要件の見直しについて (中央区自立支援協議会より)</p>	<p>対象者要件の一部拡大、支給決定基準とする要件の追加、難病患者等の一部の対象者追加、上限時間の設定などについての見直しの要望。(H29.1.10 運営事務局会議)</p> <p>▼</p> <p>状況：引き続き検討</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>第20回全体会（H30年3月開催予定）での報告を目指し、障がい福祉課で検討中。検討経過は事前に運営事務局会議で報告予定。</p> </div>
<p>(4)</p>	<p>障がい児入所施設に入所中の強度行動障がい児の18歳以降の生活の場について (東区自立支援協議会より)</p>	<p>強度行動障がい者への支援の在り方を議論。ソフト・ハードの両面整備が必要、ソフト面については支援者研修への助成等を行っているがハード整備における課題について一歩進んだ協議が必要との結論。(H29.3.17 運営事務局会議)</p> <p>▼</p> <p>状況：終了</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>H30年度より、施設整備補助金について、施設入所者の地域生活への移行などに寄与する施設を優先採択することを基本方針とした。また、事業者に対して、強度行動障がい者支援等のための施設整備を依頼していく。(障がい福祉課)</p> </div>
<p>(5)</p>	<p>障がい福祉サービスから介護保険へのスムーズな移行について (中央区自立支援協議会より)</p>	<p>西区、秋葉区の取り組みを確認。西区マニュアルを参考にできないか協議した。介護保険の説明開始時期について60歳頃から始めるべきとの意見あり。(H29.3.17 運営事務局会議)</p> <p>▼</p> <p>状況：終了</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ケースワーカー連絡会議で協議し、新潟市としてのマニュアルを整備した。(別紙1参照)</p> </div>

4. 今年度の要望・検討事項について

No	検討・要望事項	検討内等
(1)	夕方支援について (北区自立支援協議会より)	<p>在学中の放課後等デイサービスは18時頃まで利用できたが、卒業後の通所施設は15時～16時に終了するため、本人の生活リズムが乱れ、家族がフルタイムの仕事を辞めなければならない可能性も。移動支援、短期入所、日中一時支援などを利用することもあるが、空きがない場合もある。これを踏まえ、生活介護事業所の朝夕のサービス提供に応じた加算創設、就労系サービス事業所の延長支援加算の創設等に関する要望。(H29.10.5 運営事務局会議)</p> <p>▼</p> <p>状況：引き続き検討</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>通所施設の利用時間を原因に、生活リズムが崩れて本人に影響を及ぼしたケースがどの程度あるのか。また、フルタイムで働いていたが退職してしまった保護者が何人いるのかなど、まずは区での詳細な課題分析を改めて依頼。</p> <p>それを踏まえ、真に取り組むべきは加算の創設なのか、再度検討する。</p> </div>
(2)	計画相談支援事業所の整備について (西区自立支援協議会より)	<p>計画相談支援事業所の整備が進まない。南区と江南区には1ヶ所しかないため地域差も発生している。状況改善のため、具体的対策の検討を要望。(H29.10.5 運営事務局会議)</p> <p>▼</p> <p>状況：引き続き検討</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>今年度より再開した相談支援連絡会の中で、まずは現状の具体的な分析から取り組む。</p> </div>